



CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政



宮崎県知事・同県議会議長への
陳情・要望

2022年9月末漁業生産統計(属人)

2022年9月漁業生産統計(属人)

2022年9月末の対前年比較属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報



JFバッテリーキャンペーン

海老の王様イセエビ 知られざる生態に迫る!

MERGER PROPULATION

合併推進部



大分県漁協視察研修会

EVENT INFORMATION

イベント情報



2023初かつおフェアに向けた南九州
大学との企画がスタートしました!!

FISHERIES CO-OPERATIVE

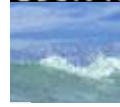
漁連情報



2022年度上半期決算監査
2022年度第6回理事会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



日向灘沿岸の水産資源の評価
結果について

—資源部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関



浮魚礁利用協議会 県北部会

宮崎県浮魚礁利用協議会 第2回委員会

参事会視察研修会

10月の動き(漁連関係)



宮崎県知事への陳情・要望



宮崎県議会副議長への陳情・要望

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はこちらから A4 サイズで出力出来ます。



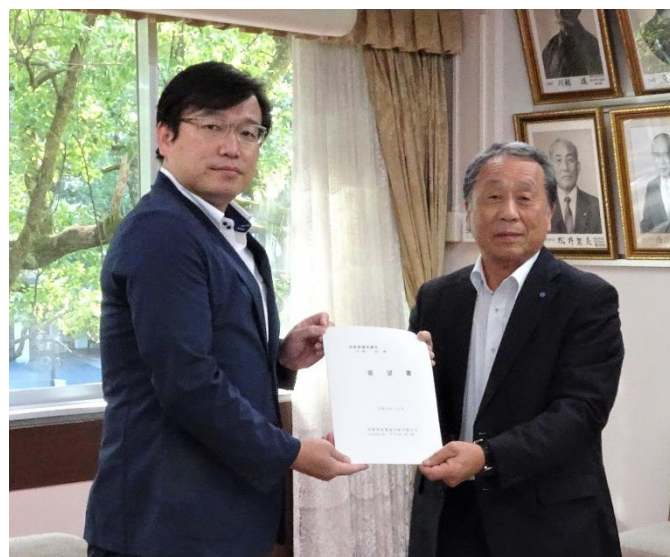
宮崎県知事・同県議会議長への陳情・要望

水産関係6団体は10月24日（月）、河野知事並びに中野県議会議長（対応は二見副議長）へ水産振興施策に対する要望活動を行った。

要望に対するコメントは以下のとおり。

河野知事：台風被害については11月議会で支援策を出せるよう準備中。県一漁協に関しては県として必要な役割を果たす予定である。魚価が抑えられていることへの懸念があるため、「食」に対する価格の在り方を国と連携し対応したい。

二見副議長：物価高騰、台風被害の状況については、県選出の国会議員とも連携し、現状を共有しながら国に報告していきたい。



2022年9月末漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき網	定置	養殖	その他	合計
北浦			20,470 1,474,834	4 3,711	200 70,030		497 166,675	4 7,546	735 22,194	21,910 1,744,990
島浦町		197 235,830	1,973 171,018	10 11,260			264 83,111	475 439,504	10 30,957	2,929 971,679
延岡			18 2,716	13 10,167	5 3,086	116 37,120	3 802		97 24,608	252 78,499
延岡市	89 41,366			2 1,060	23 7,955	52 18,976	805 185,896	0 745	73 79,769	1,044 335,765
庵川	104 52,155	317 314,496	124 35,939	0 64	45 18,819		129 52,796	90 59,810	32 25,688	839 559,767
門川		11 13,614		11 7,531	21 7,953	36 12,942			20 25,509	99 67,549
日向市	244 122,109	1,505 1,772,772		5 2,725	1 451	87 19,725	506 150,932	16 12,954	46 46,059	2,409 2,127,727
都農町	0 25	219 210,212		5 4,274					14 15,388	237 229,900
川南町		1,390 1,579,870		87 65,247	3 1,656				90 92,772	1,571 1,739,547
一ツ瀬				4 4,615	8 4,408				40 29,556	52 38,578
檉浜				3 2,339		21 3,698			24 20,236	48 26,273
宮崎		320 312,248				151 34,259			88 86,376	558 432,883
宮崎市		104 106,669	1,148 103,684	25 19,362	12 6,578	37 5,872	104 61,912		40 51,995	1,470 356,072
日南市	1,960 803,137	803 691,241		52 43,680			84 43,384		44 73,561	2,945 1,655,003
南郷	7,691 3,242,699	902 448,553		73 64,279			537 126,771		44 31,867	9,247 3,914,169
栄松		48 47,009		15 18,866					3 5,080	66 70,955
外浦	2,632 1,085,191	182 62,600					703 184,872		3 5,138	3,520 1,337,801
串間市東		75 70,110		20 11,676			1,075 277,966		114 85,907	1,285 445,659
串間市				16 22,174		19 31,699	11 7,648	5,312 3,176,723	9 34,376	5,366 3,272,620
合計数量	12,720	6,073	23,732	345	319	518	4,720	5,896	1,527	55,848
" 金額 (魚価)	5,346,681 420	5,865,224 966	1,788,191 75	293,031 850	120,936 380	164,291 317	1,342,764 285	3,697,282 627	787,035 515	19,405,436 347
前年数量	21,391	7,784	43,132	410	395	1,042	3,731	7,773	653	86,312
" 金額 (魚価)	5,013,500 234	5,536,438 711	2,435,813 56	236,850 578	112,653 285	282,349 271	980,398 263	4,940,481 636	557,240 853	20,095,722 233
数量増減	-8,672	-1,711	-19,400	-65	-77	-524	988	-1,877	873	-30,464
" 対比(%)	-40.5	-22.0	-45.0	-15.8	-19.4	-50.3	26.5	-24.2	133.7	-35.3
金額増減	333,181	328,786	-647,622	56,181	8,283	-118,058	362,366	-1,243,199	229,795	-690,286
" 対比(%)	6.6	5.9	-26.6	23.7	7.4	-41.8	37.0	-25.2	41.2	-3.4
魚価増減	186	255	19	271	95	46	22	-8	-337	115
" 対比(%)	79.4	35.8	33.4	46.9	33.2	17.1	8.3	-1.3	-39.6	49.2

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2022年9月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			3,615 222,093	1 893	16 4,740		19 7,536	1 2,125	4 7,323	3,656 244,710
島浦町		1 1,237	463 28,494	0 14			31 10,018	81 76,859	3 3,371	580 119,993
延岡				4 3,845			3 802		11 4,202	18 8,849
延岡市	2 790				3 876	2 684	0 63	0 32	6 8,931	12 11,375
庵川	6 3,722	3 6,768			4 1,903		11 4,854	2 2,118	4 8,346	30 27,710
門川				0 223	3 856				5 8,028	8 9,106
日向市	13 8,045	46 48,575		1 620		44 9,684	44 17,458	1 1,034	4 11,739	153 97,155
都農町		6 11,638		0 76					2 7,491	8 19,204
川南町		32 54,086		2 2,447					7 14,232	41 70,765
一ツ瀬				0 145	0 199				2 1,975	3 2,319
檉浜				0 30					1 1,542	1 1,572
宮崎		23 54,475							5 18,804	27 73,279
宮崎市		1 1,178		1 854	0 240		0 190		9 34,747	11 37,208
日南市	134 76,273	47 58,960		4 3,819			2 715		9 38,625	195 178,393
南郷	609 290,082	22 6,861		3 3,296			0 164		10 12,514	644 312,918
栄松				1 1,022					1 2,495	1 3,516
外浦	200 93,347						9 3,611		1 1,566	210 98,524
串間市東				2 1,770			6 3,817		2 6,189	10 11,775
串間市				1 2,528			0 77	672 345,698	2 7,508	676 355,810
合計数量	963	180	4,079	21	26	46	125	757	88	6,284
" 金額 (魚価)	472,259 491	243,778 1,357	250,587 61	21,581 1,030	8,813 340	10,368 225	49,306 393	427,866 565	199,627 2,278	1,684,185 268
前年数量	3,039	385	5,258	34	39	62	89	914	114	9,936
" 金額 (魚価)	593,054 195	383,081 994	233,085 44	21,732 637	11,698 297	15,809 255	31,910 359	641,110 701	153,254 1,342	2,084,733 210
数量増減	-2,077	-206	-1,180	-13	-13	-16	36	-157	-27	-3,652
" 対比(%)	-68.3	-53.4	-22.4	-38.6	-34.2	-25.8	41.0	-17.2	-23.3	-36.8
金額増減	-120,795	-139,303	17,502	-151	-2,884	-5,441	17,396	-213,245	46,372	-400,548
" 対比(%)	-20.4	-36.4	7.5	-0.7	-24.7	-34.4	54.5	-33.3	30.3	-19.2
魚価増減	296	363	17	393	43	-30	34	-136	936	58
" 対比(%)	151.4	36.5	38.6	61.7	14.5	-11.6	9.6	-19.4	69.8	27.7

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2022年9月末の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	9月末累計			前年同月末との比較					
				昨年同月累計			増減		魚価 対比
	数量	金額	魚価	数量	金額	魚価	数量	金額	
	t	千円	円/kg	t	千円	円/kg	t	千円	%
北浦	21,910	1,744,990	80	35,662	2,169,434	61	-13,752	-424,444	30.6
島浦町	2,929	971,679	332	8,160	1,230,878	151	-5,231	-259,199	119.7
延岡	252	78,499	312	247	65,431	265	5	13,068	17.6
延岡市	1,044	335,765	321	924	241,431	261	120	94,334	23.2
庵川	839	559,767	667	887	454,486	512	-48	105,281	30.2
門川	99	67,549	682	191	77,082	404	-92	-9,533	68.9
日向市	2,409	2,127,727	883	3,438	2,184,634	636	-1,029	-56,907	38.9
都農町	237	229,900	969	281	183,721	655	-44	46,179	47.9
川南町	1,571	1,739,547	1,108	2,095	1,550,284	740	-524	189,263	49.7
一ツ瀬	52	38,578	744	61	41,353	673	-9	-2,775	10.6
憶浜	48	26,273	548	83	34,167	412	-35	-7,894	32.9
宮崎	558	432,883	775	726	379,722	523	-168	53,161	48.2
宮崎市	1,470	356,072	242	1,584	368,523	233	-114	-12,451	4.0
日南市	2,945	1,655,003	562	4,418	1,525,743	345	-1,473	129,260	62.9
南郷	9,247	3,914,169	423	15,277	3,834,836	251	-6,030	79,333	68.6
栄松	66	70,955	1,074	80	66,918	833	-14	4,037	29.0
外浦	3,520	1,337,801	380	4,122	956,343	232	-602	381,458	63.8
串間市東	1,285	445,659	347	956	325,787	341	329	119,872	1.7
串間市	5,366	3,272,620	610	7,120	4,404,948	619	-1,754	-1,132,328	-1.5
合計	55,848	19,405,436	347	86,312	20,095,722	233	-30,464	-690,286	49.1

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

JF バッテリーキャンペーン

2022年11月1日～12月31日までバッテリーのキャンペーンをおこないます。

対象商品 JFバッテリー3品種(130F51・155G51・210H52)

※期間中においてご注文いただいた分

内容 ①1台購入につき500円/個の値引き

②2台購入につきオリジナルブルゾン1着プレゼント

(ブルゾンの色はブラック、サイズはLL、3L、4Lと限りがございますのでご了承願います。)



船舶対応ハイブリッドバッテリー



防爆栓を採用
●希硫酸漏れ防止
●水素ガス発生による引火爆発を防止



船舶専用付属端子
●海水等により腐食した端子の交換用として無償提供いたしますので、保守費用の軽減が図れます。



JIS規格5時間率性能比較例

100Ah	96Ah(5時間率)	96Ah(5時間率)	104Ah(5時間率)
	新船用バッテリー	通常品バッテリー	JFバッテリー
形式	115F51	130F51	130F51
	新船用バッテリー	通常品バッテリー	JFバッテリー

環境保全の推進



使用済みバッテリーは所定の使用済みバッテリー回収かごまでお持ち下さい。



JFバッテリーシリーズ要項表

形式	電圧 (V)	5時間率容量 (Ah)	外形寸法(約mm)				液入質量 (約kg)	取っ手	端子の種類	端子位置
			総高	箱高	幅	長さ				
130F51	12	104	255	210	180	502	32.9	有り	テーパー端子	
155G51	12	120	255	210	220	505	39.0	有り	テーパー端子	
210H52	12	160	266	216	276	518	58.0	有り	テーパー端子	

海老の王様イセエビ 知られざる生態に迫る！

武将の甲冑を思わせる豪快な姿に、気高さすら感じる鮮やかな赤色。また慶事の席に欠かせない高級材・イセエビは、刺身よし・焼き物よし、どのような料理でもおいしさを堪能できる王道の食材です。

国内の海で獲れる海老の中では最も大きくなり、濃厚な甘みと口の中で弾むプリプリとした食感が唯一無二の味わいを生み出すイセエビですが、その生態は意外と知られていません。

・イセエビの名前は産地に由来は？

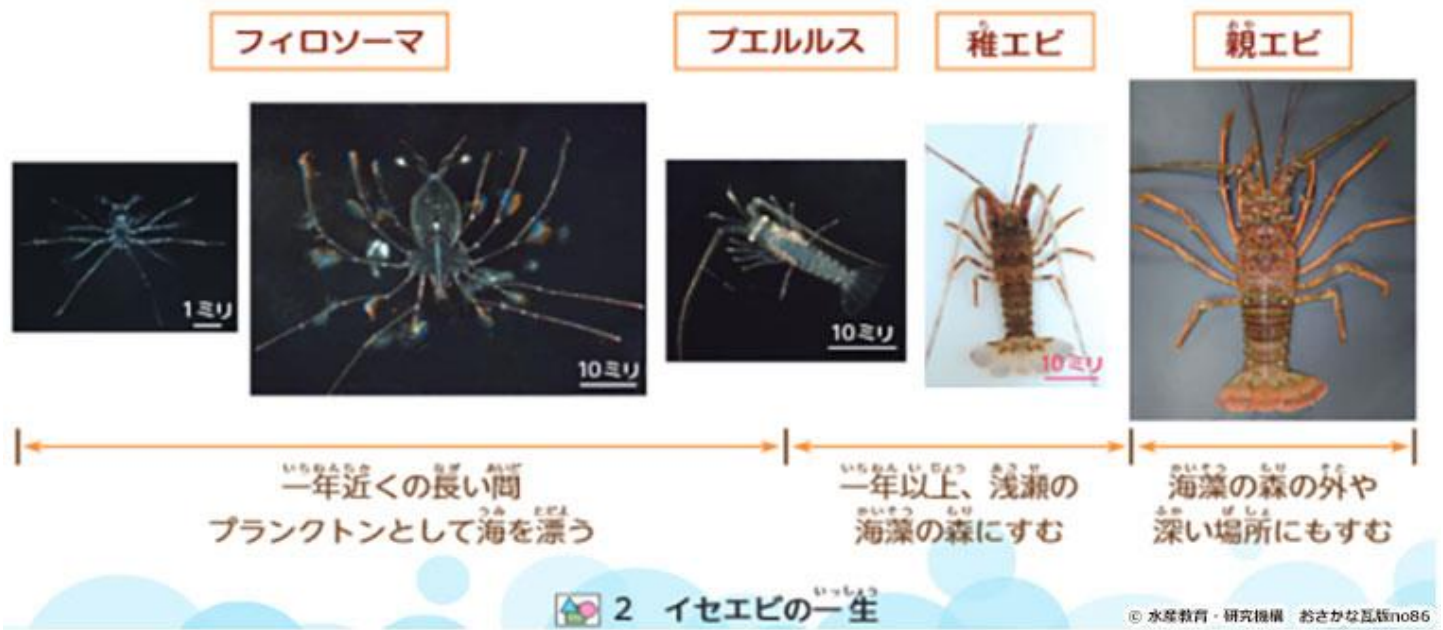
イセエビの名前は、「伊勢湾でたくさん獲れることからイセエビと呼ばれる」という産地由来説がよく知られています。そのほかに、江戸時代中期の書物『日本山海名産図会』には、京へは伊勢から届くので伊勢海老と呼ばれ、江戸へは鎌倉から届くので鎌倉海老と呼ばれたとの記述もあり、浅い海の岩場（磯）に生息している海老（＝いそえび）が転じてイセエビになった説や、鎧（よろい）をまとったような外見から「威勢のいい海老」と呼ばれたという説もあります。

・謎が多いイセエビの生態！

イセエビは5月から8月の産卵期に、鮮やかなオレンジ色の卵を約50万個も産みます。受精前の卵は、頭の下あたりにたっぷりと詰まっています。これが「内子」と呼ばれる珍味です。限られた時期、しかもメスしか持たないためなかなか出会うことができません。受精後はメスがお腹に卵を抱えて、ふ化するまでの1カ月を大切に守り続けます。

イセエビが卵からふ化した姿を見たことはありますか？ 透明で平たいからだに長い脚、目が突き出たその姿はまるでクモのよう。フィロソーマ幼生というプランクトンとして、1年近く太平洋で浮遊生活を送ります。およそ30回の脱皮を繰り返し、体長3センチ（脚を除く）ほどに成長すると、エビらしい姿のプエルルス幼生へ変態します。

プエルルス幼生は、その美しい透明な姿からガラスエビとも呼ばれます。海藻の豊かな沿岸エリアの藻場へ戻ったプエルルス幼生は色づき始め、脱皮をして約2週間後に稚エビになります。体長2センチとまだまだ小さく、さらに脱皮を繰り返しながら、約3年かけて体長20センチの親エビへと成長するのです。



また、イセエビが高級品である理由の一つに、すべて天然ものである点があります。人工飼育の研究は100年以上も前にスタートしましたが、約1年にわたるフィロソーマ幼生の飼育は、①細菌に感染しやすい、②長い脚が絡まって折れやすい、③適したエサがムラサキイガイの生殖巣の1種類のみしかわからなかった、という理由から困難を極めました。

安定して育てる環境条件や、より栄養価の高い餌の探索など、地道な研究が実を結んだのは1988年。ようやくフィロソーマから稚エビの完全飼育に成功し、近年では数百尾の稚エビを安定的に育てられるまでになりました。「養殖イセエビ」の誕生にはさらなる技術開発が必要ですが、歩みは着実に進んでいます。

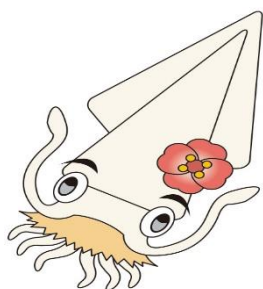
・まとめ

お祝いの席には欠かせない縁起物のイセエビ。20センチ超の豪快な姿への成長が、クモのようなわずか数ミリのプランクトンから始まるなんて、とても不思議ですね。生態には謎が多く、人工飼育の成功までに100年以上の年月が必要でした。いつか完全養殖に成功して、手の届く価格で気軽に食べられる日が来るのかもしれない。技術の進歩をワクワクしながら待ちませんか。

大分県漁協視察研修会

合併先進県漁協研修会の実施

合併推進部は10月13日、14日の2日間に渡り合併先進県である大分県漁協へ視察研修会を実施した。研修会では合併に向けての課題点、整理事項等について意見交換を交えながら当時の状況や合併後の姿について説明を頂いた。今回の研修会を今後の県一漁協合併推進に活かしていきたい。



2023 初かつおフェアに向けた南九州大学との企画がスタートしました!!

今春の初かつおフェアでは、南九州大学と南那珂農林振興局、農業遺産保全推進協議会（日南市）、イオン九州、宮崎のさかなビジネス拡大協議会の共同企画として、南九州大学健康栄養学部管理栄養学科の学生さんがカツオのアレンジレシピを考案し、そのレシピを活用した惣菜をイオン宮崎店およびマックスバリュ各店で販売しました。イオン、マックスバリュの3、4月のカツオ惣菜の販売数量は前年の約87倍（金額では172倍）となり、期間中のカツオ消費拡大に貢献しました。来年はエコープなど参加店舗を拡大し、南九州大学と連携したカツオレシピ作りを引き続き、取り組むこととしました。

南九州大学管理栄養学科は県内で唯一の管理栄養士養成校として2003年に開設し、卒業生の多くは県内の医療・福祉施設または学校で、管理栄養士や栄養教諭として食育や住民の健康管理など地域社会で活躍しています。学生時代に本県水産物の良さに関する知識や経験を得る機会を提供し、将来、学校や福祉施設での給食事業などで本県水産物を利用してもらえる応援団になって欲しいと願っています。



2022 フェア 宮崎イオン惣菜コーナー

2023 初かつおフェアのキックオフとして、かつお捌き体験授業を開催されました。

【体験授業概要】

- 1 実施日 令和4年10月5日（水）
- 2 実施場所 南九州大学宮崎キャンパス調理学実習室
- 3 講師 南郷漁協 江藤組合長、女性部日高さん、江藤さん、發田職員
- 4 参加者 南九州大学 職員3名、管理栄養学科2年生48名（2クラスに分けて、午前と午後の2回実施）。
- 5 関係者 日本農業遺産日南かつお一本釣り漁業保全推進協議会、宮崎のさかなビジネス拡大協議会等

【実習風景】

多くの学生さんは、生カツオの刺身は食べたことのあるものの、丸ごとのカツオを見るのは初めてで、チャレンジされた学生さんは、講師の方の助言や手ほどきを受けながら皆さん上手く捌くことができました。その後、昨年のレシピ（ポキ丼、カレー揚げ）を調理実習し、試食しました。





【かつお加工品試食】

日南市漁協女性部、南郷漁協港の駅めいつ、外浦漁協が製造、販売しているかつお加工品の試食を行いました。学生さん達は、うみっこ節、かつおチップス、虎節、かつおカレーなどカツオを使った加工品のバリエーションの多さに驚くとともに、皆さん、美味しいと感激していました。



【今後の取り組み】

○10月下旬：かつおアレンジレシピの学内試食会（南九州大学）

各学生が考案したレシピを元に、学生さんが調理をし、先生が試食&アドバイス。

その中から、特に良かったレシピを今年度のアレンジレシピとして採用

○11月中旬：かつおレシピお披露目会（南九州大学）

アレンジレシピを調理し、取組関係者が試食し、コメント等行う。

（日本農業遺産日南かつお一本釣り漁業保全推進協議会、コラボ提供予定の量販店等）

（イオン九州、マックスバリュ、エーコープ、スーパーとむら、一木一草さんが参加予定）

※当日はNHK「ウオカツ！」の取材が入り、10月28日に放送されました（九州沖縄地区限定）



■ 宮崎のさかなビジネス拡大協議会

2022年度上半期決算監査

漁連は、監事3名により、10月3日（月）、4日（火）に会計監査（棚卸品・現金預金）、10月25日（木）、26（金）に運営・会計監査を受けた。

2022年度第6回理事会

漁連は、10月28日（金）、宮崎県水産会館4階第一研修室において2022年度第6回理事会を開催し、次の事項について議案審議及び報告を行い、全議案とも原案通り承認された。

報告事項

- (1) 人事異動について
- (2) 2022年度上半期監事監査結果について
- (3) 内部監査指摘事項の改善状況について
- (4) 9月末損益概況について
- (5) 石油類の価格改定について

その他

- ・北浦新工場の減価償却費配分について
- ・台風14号による本会施設被害について
- ・漁業用資材価格高騰対策拡充に関する対応について

附議事項

- 第一号議案 諸規程の一部改正に関する件
その他

日向灘沿岸の水産資源の評価結果について

—資源部—

宮崎県では本県沿岸の水産資源の適切な管理を目的として、毎年資源評価を行っており評価結果を宮崎県資源評価委員会（以下委員会という）に諮っています。

令和4年8月31日に開催された第12回委員会にて、10魚種（新規評価種1種）が評価されました。ここでは、毎年評価している「アマダイ類」、「イセエビ」「カサゴ」、「マダイ」、「ヒラメ」の5種の評価結果の概要を示します。

（表1の見方）

- ・ A、B、C、Dは使用した情報の質や量等を勘案した診断
- ・ 高位、中位、低位は資源レベル
- ・ 増加、横ばい、減少は直近5カ年の資源の動向

表1 第12回資源評価委員会の結果

魚種名	2022年	
	診断	動向
1 アマダイ類	A	中位・増加
2 カサゴ	A	低位・横ばい
3 ヒラメ	A	低位・減少
4 イセエビ	C	中位・横ばい
5 マダイ	B	高位・増加
6 ハモ	B	高位・減少
7 イサキ	B	高位・増加
8 サワラ	B	高位・増加
9 シイラ	B	低位・増加
10 シラス	C	低位・減少

計10魚種

1 アマダイ類



写真1 水揚げされたアカアマダイ

【2021年の漁獲状況】

漁獲量：18.7トン
 漁獲金額：27百万円
 平均単価：1,422円/kg

【評価結果】

資源の水準：「中位」
 資源の動向：「増加」

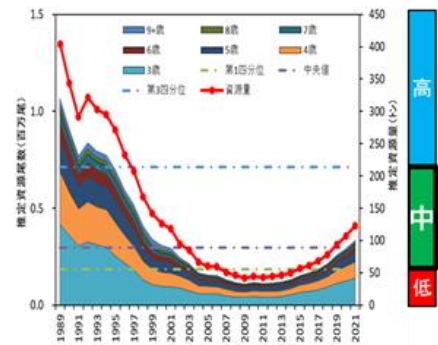


図1 アカアマダイの推定資源尾数と推定資源量の推移

【委員会の提言】

- ・ 近年は漁獲対象となる3歳魚以上の資源尾数・資源量が増加していることから、資源の増加期に入った可能性が高い。
- ・ 現状が継続すれば、安定的な加入ひいては親魚量の増大につながると考えられるが、環境変化等により、状況が変わることも考えられることから、今後も資源の動向を注視する必要がある。
- ・ 近年は日向灘のアマダイ資源回復の好機であると考えられ、資源回復計画の推進により、親魚量と加入量を確保することが重要である。

2 イセエビ



写真2 水揚げされたイセエビ

【2021年の漁獲状況】

漁獲量：57.1トン
 漁獲金額：274百万円
 平均単価：4,795円/kg

【評価結果】

資源の水準：「中位」
 資源の動向：「横ばい」

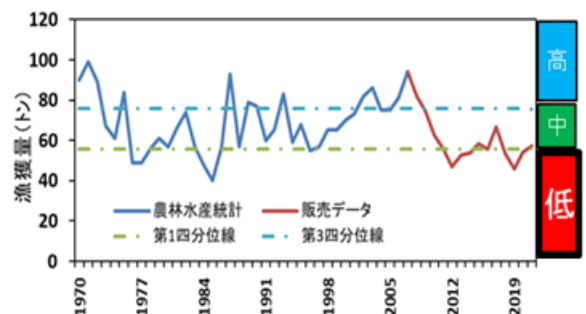


図2 漁獲量の推移と動向

【委員会の提言】

- ・ 本種は沖合域からの移入により本県沿岸に加入してくると考えられることから、資源管理方策としては、加入量確保と生残率の向上を目指す取り組みと、資源の効率的利用が必要である。

・加入量の確保と生残率の向上の方策としては、藻場の造成や代替物を設置する取り組みが、資源の効率的利用の方策としては、小型個体の再放流により漁獲サイズの拡大を目指す取り組みや、操業調整により単価の高い時期等に漁獲する取り組みが重要である。

3 カサゴ



写真3 水揚げされたカサゴ

【2021年の漁獲状況】
 漁獲量：6.8トン
 漁獲金額：4.6百万円
 平均単価：676円/kg
 【評価結果】
 資源の水準：「低位」
 資源の動向：「横ばい」

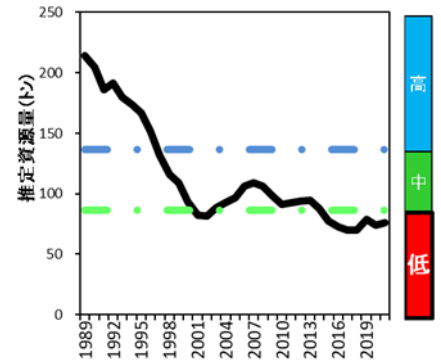


図3 資源量指標値（推定資源量）の推移と動向

【委員会の提言】

・近年、資源尾数・資源量及び加入量は横ばいで推移していると考えられるが、漁獲係数の増大傾向も見られることから、現行の資源管理措置を継続するとともに、漁獲及び資源状況の継続的な把握が必要である。

4 マダイ



写真4 マダイ

【2021年の漁獲状況】
 漁獲量：68.5トン
 漁獲金額：39百万円
 平均単価：569円/kg
 【評価結果】
 資源の水準：「高位」
 資源の動向：「増加」

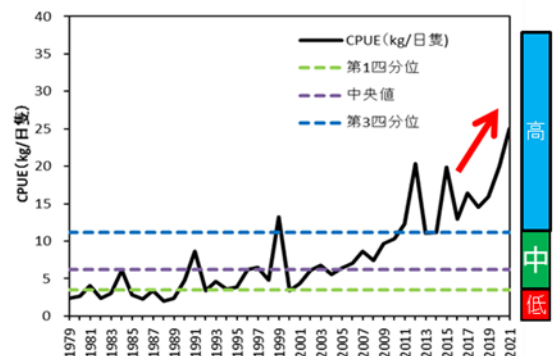


図4 大型定置網の資源量指標値（CPUE）の推移

【委員会の提言】

- ・肥満度は全てのサイズで1989年頃よりも低い傾向がみられるため、2000年以降の本県沿岸はマダイの生育環境として好適であるとは言いがたいが、市場調査魚の肥満度は2000年代前半を境に回復傾向もみられている。
- ・若齢魚の漁獲尾数は、1990年代後半から低い水準で推移している一方で、高齢魚の漁獲尾数は安定しており、近年本県で漁獲されているマダイは主に移入資源であると考えられることから、他海域の資源動向を含め、注視していく必要がある。
- ・現在は、人為的措置による資源の増大は期待しがたいが、地先での再生産状況と環境変化をモニタリングし、加入状況に変化が確認されるなど、人為的措置による資源増大が望める機会を把握することが重要である。

5 ヒラメ



写真5 水揚げされたヒラメ

【2021年の漁獲状況】
 漁獲量：15.1トン
 漁獲金額：19.9百万円
 平均単価：1,320円/kg
 【評価結果】
 資源の水準：「低位」
 資源の動向：「減少」

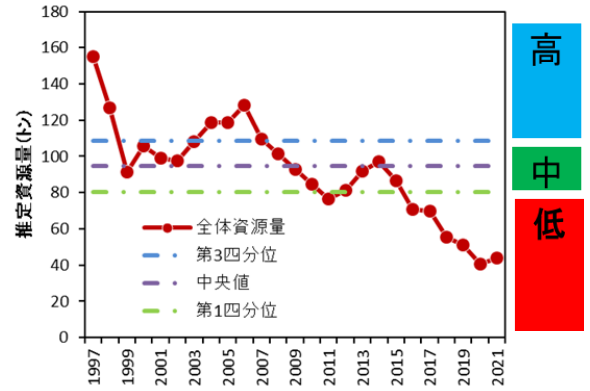


図5 資源量指標値の推移と動向

【委員会の提言】

- 全漁獲尾数に占める放流由来の混獲率は、2016、2017年には低下しているが、2019年以降上昇するなど、放流魚の漁獲割合が高くなっている。
- 親魚量の減少や再生産成功率の低迷により、本種の資源量が低水準で推移していると推定されているが、本県が所属する太平洋南部海域でも総じて同じ傾向がみられることから、関係県と連携して、今後の資源動向を注視する必要がある。

今年評価した各種の詳細は、宮崎県水産試験場 HP (<http://www.mz-suishi.jp/>) に掲載しております。

浮魚礁利用協議会 県北部会

宮崎県浮魚礁利用協議会県北部会(会長：黒木巧)は10月11日、JF門川会議室において、関係漁業者出席のもと開催された。

協議事項は以下の通り。

○協議事項

宮崎海区漁業調整委員会が定めた「浮魚礁利用に関する承認方針」の第3承認に付する制限又は条件中の(かつお一本釣漁業)に係る追加規定の新設について。※(リールの使用を禁止する)

宮崎県浮魚礁利用協議会 第2回委員会

宮崎県浮魚礁利用協議会(会長：溝口吉治)は、2022年10月21日に水産会館4階第1研修室において第2回委員会を開催した。

委員会では、下記の協議事項について協議し、全議案承認決定された。

また、報告事項としては、県漁業管理課の担当者より「うみさち7号」の設置のスケジュールについて説明を受けた。

協議内容は以下の通り。

協議事項

- | | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | 今年度新設運用開始予定の「うみさち7号」に限定した操業ルールとして、かつお一本釣り漁業については、宮崎県所属カツオ船に限定し操業できる時間帯を曳縄漁船が操業している時でも日の出からの操業を認めるルールの設定に係る承認について |
| (2) | 宮崎海区漁業調整委員会が定めた「浮魚礁利用に関する承認方針」の第3承認に付する制限又は条件中の(かつお一本釣り漁業)に係る追加規定(リールの使用を禁止する)の新設に係る承認について |

報告事項

- | | |
|-----|--------------------------------|
| (1) | 新設される「うみさち7号」に関する設置のスケジュールについて |
|-----|--------------------------------|



参事会視察研修会

宮崎県漁協参事会（会長 大橋良行）は、10月13日（木）～14日（金）に宮城県の塩釜魚市場を視察先とした研修会を行った。

水揚げ・競りの視察後、塩竈市佐藤市長、みなと塩釜魚市場株式会社志賀社長・津田専務を含めた意見交換会が開催され、各漁協参事とマルシップ船員の状況や船員休憩室、燃油の高騰等について意見を交換した。



10月の動き（漁連関係）

3日、4日	2022年度上半期決算監査(棚卸)
11日	宮崎県浮魚礁利用協議会 県北地区部会
13日、14日	宮崎県漁協参事会視察研修会
13日、14日	大分県漁協視察研修会
21日	第2回宮崎県浮魚礁利用協議会
24日	県知事・県議会議長要望
24日、26日	2022年度上半期決算監査(会計)
28日	2022年度第6回理事会